

科目名	二級建築士 法規									
科目名(英)	Building regulations									
単位数	8単位			時間数	128時間		担当者	橘 俊明		
実施年度	2019年度			実施時期	前期		実務家教員 担当科目	設計会社にて 設計担当		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年									
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法									
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標				
	○	○				法令集の使用手順を守れている。				
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。				
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。				
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正答を導き出せる。				
	○	○				法令集を使用して、各章の答えを導くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅱ 法規									
	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	建築基準法全体説明 法令集の使い方説明					ライン引き インデックス 配布			
	2	法令集インデックスの貼り方					付録 法令集準備編を確認させる			
	3	重要法条文ライン引き					放課後自宅でもライン引きさせる			
	4	重要法条文ライン引き					放課後自宅でもライン引きさせる			
	5	重要法条文ライン引き					放課後自宅でもライン引きさせる			
	6	第1章 総則 用語の定義					放課後自宅でもライン引きさせる			
	7	総則 面積・高さ等の算定方法					今回予定範囲を予習する			
	8	総則 面積・高さ等の算定方法					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	9	総則 確認済証の交付					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	10	総則 確認済証の交付					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	11	総則 手続き等(中間検査等)					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	12	総則 手続き等(中間検査等)					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	13	第2章 一般構造等					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	14	一般構造					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	15	建築設備					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	16	第3章 構造強度					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	17	構造関係規定の構造					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	18	構造方法(仕様規定)					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	19	構造計算					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	20	確認テスト					今までの復習プリントで復習			
	21	実力試験					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	22	第4章 防火関係					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	23	防火構造等 1					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			
	24	防火構造等 2					復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング			

授業計画

25	耐火構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
26	法22条区域の建築物	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
27	耐火建築物としなければならない特殊建築物	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
28	防火地域、準防火地域	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
29	防火区画等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
30	内装制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
31	内装制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
32	避難施設等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
33	第4章の 確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
34	第5章 都市計画区域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
35	都市計画区域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
36	道路壁面戦1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
37	道路壁面戦2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
38	用途地域1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
39	用途地域2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
40	容積率 建蔽率1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
41	容積率 建蔽率2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
42	敷地面積・低層住居専用地域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
43	敷地面積・低層住居専用地域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
44	高さ制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
45	高さ制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
46	地区、街区等1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
47	地区、街区等2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
48	確認テスト	今までの復習プリントで復習
49	実力試験	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
50	第5章の確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
51	第6章 雑則等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
52	雑則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
53	建築協定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
54	建築審査会、罰則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
55	全範囲の模擬試験1回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
56	全範囲の模擬試験2回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
57	全範囲の模擬試験3回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
58	全範囲の模擬試験4回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
59	全範囲の模擬試験5回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
60	全範囲の模擬試験6回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
61	全範囲の模擬試験7回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習
62	予想問題実施1回目	全範囲を今までのプリントで復習
63	試験前記 復習問題 試験諸注意	全範囲を今までのプリントで復習
64	試験終了後、自己採点会実施 2次試験の説明	全範囲を今までのプリントで復習

評価方法	(1)実力試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)授業中に確認テストを実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	確認テスト	○	○			30%
	実力試験	○	○			70%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・					

科目名	二級建築士 計画						
科目名(英)	Architectural Planning						
単位数	4.8単位		時間数	72時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年						
授業概要	学科Ⅰで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市においての役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅰ計画						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 気候（屋外の気候、屋内の環境）				初回に入る前に 全体カリキュラムを確認する。	
	2	第1章 気候（空気汚染、換気）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	3	第2章 伝熱・結露（伝熱）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	4	第2章 伝熱・結露（結露）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	5	第1章～第2章までの確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	6	第3章 日照・日射・採光				授業に入る前に 3章～6章カリキュラムを確認する。	
	7	第4章 音響（音の性質、遮音、音響計画）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	8	第5章 色彩（概要、表色系）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	9	第5章 色彩（色彩と心理、色彩による環境調整）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	10	第6章 環境工学融合（用語）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	11	第6章 環境工学融合（単位）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	12	第3章～第6章 確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	13	第1章～第6章実力テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。適宜 質問 カード記入提出。	
	14	第7章 空調調設備 1（空調調設備の種類）				授業に入る前に 7章～12章カリキュラムを確認する。	
	15	第7章 空調調設備 2（空調調設備計画）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	16	第8章 給水設備（給水設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	17	第8章 給水設備（給湯設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	18	第9章 排水衛星設備（排水設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	19	第9章 排水衛星設備（排水設備）衛生設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	20	第10章 電気・照明設備（電気設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	21	第10章 電気・照明設備（証明設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	22	第11章 消火・防災設備（消火設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	23	第11章 消火・防災設備（防災設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	24	第12章 設備融合（省エネルギー・環境保全）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	25	第12章 設備融合（用語）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	26	第7章～12章確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	27	第13章建築史（日本建築史西洋建築史、近代・現代建築史）				13章～18章カリキュラム確認する。	
	28	第14章 計画一般（面積・規模、寸法設計、屋根、開口部、仕 上げ、建築精算、防火、防災計画）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	29	第15章 住宅（独立住宅）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	30	第15章 住宅（集合住宅）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	31	第16章商業建築（店舗、事務所、宿泊施設、劇場、映画 館、工場、倉庫）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	32	第17章公共建築（学校、幼稚園、保育所、図書館、美術、）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	33	第17章 地域計画（博物館、医療施設、その他の公共施設）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	34	第18章 地域計画（住宅計画、都市問題・都市理論）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	35	第13章～18章確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	36	第13章～第18章実力テスト				今まで配布した、問題、解説ファイル確認し、見直 す。質問カード提出より、情報共有する。	
評価方法	(1)定期試験（筆記）を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	実力試験	○	○				60%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件						

科目名	二級建築士 法規						
科目名(英)	Building regulations						
単位数	8単位		時間数	128時間			
実施年度	2019年度		実施時期	前期	担当教員 橋 俊明		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年						
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	知識 理解 応用 評価	目標					
	○ ○ △		法令集の使用の方法の手順をこなしている。				
	○ ○ ○		面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。				
	○ ○ ○		建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。				
	○ ○ ○		実業の証状において、建築物の名称、建築業者、建築法式について正答を導き出せる。				
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅱ 法規						
授業計画	回	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	建築基準法全体説明 法令集の使い方説明			ライン引き インチックス 配布		
	2	法令集インデックスの貼り方			付録 法令集準備を確認させる		
	3	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる		
	4	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる		
	5	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる		
	6	第1章 総則 用語の定義			放課後自宅でもライン引きさせる		
	7	総則 面積・高さ等の算定方法			今回予定範囲を予習する		
	8	総則 面積・高さ等の算定方法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	9	総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	10	総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	11	総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	12	総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	13	第2章 一般構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	14	一般構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	15	建築設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	16	第3章 構造強度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	17	構造関係規定の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	18	構造方法(仕様規定)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	19	構造計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	20	確認テスト			今までの復習プリントで復習		
	21	実力試験			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	22	第4章 防火関係			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	23	防火構造等 1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	24	防火構造等 2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	25	耐火構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	26	法22条区域の建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	27	耐火建築物としなければならない特殊建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	28	防火地域、準防火地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	29	防火区画等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	30	内装制限1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	31	内装制限2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	32	避難施設等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	33	第4章の 確認テスト			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	34	第5章 都市計画区域の制限1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	35	都市計画区域の制限2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	36	道路壁面面取			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	37	道路壁面面取2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	38	用途地域1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	39	用途地域2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	40	容積率 建蔽率1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	41	容積率 建蔽率2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	42	敷地面積・低層住居専用地域の制限1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	43	敷地面積・低層住居専用地域の制限2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	44	高さ制限1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	45	高さ制限2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	46	地区、街区等1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	47	地区、街区等2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
	48	確認テスト			今までの復習プリントで復習		
	49	実力試験			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている		
50	第5章の 確認テスト			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている			
51	第6章 雑則等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている			
52	雑則			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている			
53	建築協定			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている			
54	建築審査会、罰則			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒についている			
55	全範囲の模擬試験1回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
56	全範囲の模擬試験2回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
57	全範囲の模擬試験3回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
58	全範囲の模擬試験4回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
59	全範囲の模擬試験5回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
60	全範囲の模擬試験6回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
61	全範囲の模擬試験7回目 1章～5章の範囲			全範囲を今までのプリントで復習			
62	予想問題実施1回目			全範囲を今までのプリントで復習			
63	試験前述 復習問題 試験諸注意			全範囲を今までのプリントで復習			
64	試験終了後、自己採点会実施 2次試験の説明			全範囲を今までのプリントで復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 ※60%以上で取得すること (2)2級建築士 学科1次試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				30%
	実力試験	○	○				60%
	準備			○			10%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	二級建築士 構造				
科目名(英)	Building construction				
単位数	8単位	時間数	128時間	担当者	柴田 義泰
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 等内容を知ること、2級建築士レベルの知識を身につける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目 標					
	構造力学に必要な基礎数学が解ける。(中学程度の基礎数学力)				
	不静定構造物の算出ができる				
	木造構造の各部の名称や特徴を説明できる。				
	コンクリート構造の各部の名称や特徴を説明できる。				
	鉄骨構造の各部の名称や特徴を説明できる。				
テキスト・教材参考	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅲ構造				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	生活の中で構造について、建築士試験とは。			テキストにおいて予習する
	2	第1章 構造物と力 反力の計算			構造力学に必要な基礎数学を予習する
	3	第2章 構造物と力 単純梁の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	4	第1章 構造物と力 方持ち梁の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	5	第2章 静定構造物の応力 3ヒンジラーメンの計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	6	第2章 静定構造物の応力 静定構造物の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	7	第3章 特定トラスの応力 トラス構造種類 や特徴			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	8	第3章 特定トラスの応力 トラス構造の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	9	第4章 断面の性質 断面構造 特徴			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	第4章 断面の性質 図芯について			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	第4章 断面の性質 断面系数			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	確認テスト			今までの復習プリントで復習
	13	第4章 断面の性質 断面2次モーメント計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	第5章 応力度と許容応力度 軸応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	第5章 応力度と許容応力度 曲げ応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第5章 応力度と許容応力度 せん断応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	第5章 応力度と許容応力度 軸応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	第5章 応力度と許容応力度 許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	第5章 応力度と許容応力度 許容曲げモーメント			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	20	第5章 応力度と許容応力度 圧縮応力度との組み合わせ			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	21	第6章 変形と不静定構造物 不静定構造物とは			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第6章 変形と不静定構造物 基礎解法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	第6章 変形と不静定構造物 破棄と破壊荷重			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	第6章 変形と不静定構造物 保有水平耐力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	確認テスト			今までの復習プリントで復習
	26	第7章 荷重・外力 構造物の安定と不安定			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	27	第7章 荷重・外力 建物に作用する外力とその伝達メカニズム			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	28	第7章 荷重・外力 構造設計法の概要1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	29	第7章 荷重・外力 構造設計法の概要2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング

授業計画	30	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	32	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	33	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	34	第9章 木構造 木質構造の概要	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	35	第9章 木構造 木造と木質材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	36	第9章 木構造 小屋組 軸組	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	37	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	38	第10章 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造とは	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	39	第10章 鉄筋コンクリート構造 RC造の材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	40	第10章 鉄筋コンクリート構造 スラブ 耐震壁	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	41	第10章 鉄筋コンクリート構造 断面算定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	42	第11章 鉄骨構造 鉄骨構造の概要	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	43	第11章 鉄骨構造 種類と性質	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	44	第11章 鉄骨構造 トラス構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	45	第11章 鉄骨構造 耐火被覆 及びさび止め	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	46	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	47	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	48	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	49	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	50	第13章 構造設計 木造構造の耐力壁の計算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	51	第13章 構造設計 壁式構の耐力壁配置計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	52	第13章 構造設計 鉄骨造構造計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	53	第13章 構造設計 ラーメン構造の柱配計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	54	第14章 建築材料 構造用材料 木材	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	55	第14章 建築材料 構造用材料 金属	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	56	第14章 建築材料 構造用材料 コンクリート	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	57	第14章 建築材料 内装材料 非金属材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	58	第14章 建築材料 内装材料 石材	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	59	第14章 建築材料 内装材料 ガラス	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
60	第14章 建築材料 内装材料 左官材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング					
61	第15章 建築材料 プラスチック	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング					
62	確認テスト	今までの復習プリントで復習					
63	模擬試験	本番を想定 終了後答え合わせ。					
64	本試験後採点及び復習	2次試験に備える					
評価方法	(1)模擬試験を実施する。※60%以上取得すること (2)確認テスト (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				30%
	2級建築士 学科本試験					○	10%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件						

科目名	二級建築士 施工						
科目名(英)	Building Construction						
単位数	4.8単位		時間数	72時間		担当者	納富 友羅
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員担当科目	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年						
授業概要	学科Ⅳで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				工事契約における重要事項と留意事項を説明することができる	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
	○	○				積算に関する知識を試す、過去の建築士問題が解ける。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 工事契約1				第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく	
	2	第2章 工事契約2				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第2章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第3章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第3章 地盤調査・測量 第5章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	8	第6章 土工事・基礎地業工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第6章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第7章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第7章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第8章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第8章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第9章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第9章 木工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	16	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	17	第10章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	18	第11章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	19	第11章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	20	第12章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	21	第12章 タイル・張石工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	22	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	23	第13章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	24	第14章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	25	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	26	第14章 建具・ガラス工事 第16章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	27	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	28	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	29	第18章 用語・機械 第19章積算				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	30	模擬試験				今までの内容を復習する	
評価方法	(1)模擬試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること(2)確認テストを実施する (3)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				30%
	2級建築士学科本試験					○	10%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件						

科目名	二級建築士学科演習				
科目名(英)	Architectural Planning				
単位数	4.8単位	時間数	72時間	担当者	橘 俊明
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	二級建築士主要4科目において、7月の学科試験に向けて演習問題を解き、試験合格レベルの実践的な力を つけさせる。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
2級建築士(計画)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる					
2級建築士(法規)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる					
2級建築士(構造)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる					
2級建築士(施工)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる					
全科目総合得点60点以上を目指す(※各学科25点満点、全科目合計100点満点)					
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅰ計画				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	学科Ⅰ(計画)第1章 気候			各授業項目ごとの過去問予習
	2	学科Ⅰ(計画)第2章 伝熱・結露(伝熱)			
	3	学科Ⅱ(法規)第1章総則 用語の定義 面積			
	4	学科Ⅱ(法規)第1章総則 高さ等の算定方法 確認済			演習テスト終了後、見直し学習
	5	学科Ⅲ(構造)構造物と力			各授業項目ごとの過去問予習
	6	学科Ⅲ(構造)応力 片持梁の応力			
	7	学科Ⅲ(構造)単純梁の応力			
	8	学科Ⅲ(構造)静定ラーメンの応力			演習テスト終了後、見直し学習
	9	学科Ⅳ(施工)第1章 工事契約			各授業項目ごとの過去問予習
	10	学科Ⅳ(施工)第2章 工事監理、施工業務 ネットワーク			
	11	学科Ⅰ(計画)第3章日照、日射・採光			
	12	学科Ⅰ(計画)第4章音響 5章色彩 6章環境工学融合			演習テスト終了後、見直し学習
	13	学科Ⅱ(法規)第1章手続き【中間検査等】			各授業項目ごとの過去問予習
	14	学科Ⅱ(法規)第2章一般構造 敷地の衛生、住居の採光			
	15	学科Ⅱ(法規)第2章石綿規制・シックハウス対策			
	16	学科Ⅱ(法規)第2章居室の天井・床の高さ、便所			演習テスト終了後、見直し学習
	17	学科Ⅱ(法規)第3章 建築設備			各授業項目ごとの過去問予習
	18	学科Ⅲ(構造)第2章 単純梁の応力			
	19	学科Ⅲ(構造)第2章 静定ラーメンの応力			
	20	学科Ⅲ(構造)第3章 特定トラスの応力			演習テスト終了後、見直し学習
	21	学科Ⅳ(施工)第3章 地盤調査・測量			各授業項目ごとの過去問予習
	22	学科Ⅳ(施工)第4章 架設工事			
	23	学科Ⅳ(施工)第5章 土工事・基礎事業工事			
	24	学科Ⅰ(計画)第7章 空気調和設備			演習テスト終了後、見直し学習
	25	学科Ⅰ(計画)第8章 給水設備			各授業項目ごとの過去問予習
	26	学科Ⅰ(計画)第9章 排水衛生設備			
	27	学科Ⅱ(法規)第3章 構造強度			
	28	学科Ⅱ(法規)第4章防火構造等、法22条区域内の建築物			演習テスト終了後、見直し学習
	29	学科Ⅲ(構造)第4章 断面の性質			各授業項目ごとの過去問予習
	30	学科Ⅲ(構造)第5章 応力度と許容応力度			
	31	学科Ⅲ(構造)第6章 変形と不静定構造物			

授業計画	32	学科Ⅳ（施工） 第5章 鉄筋コンクリート工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	33	学科Ⅰ（計画） 第10章 電気設備	各授業項目ごとの過去問予習				
	34	学科Ⅰ（計画） 第11章 消火、防災設備					
	35	学科Ⅰ（計画） 第12章 設備融合					
	36	学科Ⅱ（法規） 第4章 防火区画・間仕切壁	各授業項目ごとの過去問予習				
	37	学科Ⅱ（法規） 第4章 内装制限等					
	38	学科Ⅱ（法規） 第4章 避難施設・排煙設備					
	39	学科Ⅲ（構造） 第7章 荷重と外力	演習テスト終了後、見直し学習				
	40	学科Ⅲ（構造） 第8章 地盤と基礎構造	各授業項目ごとの過去問予習				
	41	学科Ⅳ（施工） 第7章 鉄骨工事					
	42	学科Ⅳ（施工） 第8章 コンクリートブロック工事					
	43	学科Ⅳ（施工） 第9章 木工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	44	学科Ⅰ（計画） 第13章 建築史	各授業項目ごとの過去問予習				
	45	学科Ⅰ（計画） 第14章 計画一般					
	46	学科Ⅰ（計画） 第15章 住宅					
	47	学科Ⅱ（法規） 第5章 都市計画等の制限 道路、壁面線	演習テスト終了後、見直し学習				
	48	学科Ⅱ（法規） 第5章 都市計画等の制限 用途地域	各授業項目ごとの過去問予習				
	49	学科Ⅲ（構造） 第9章 木構造					
	50	学科Ⅳ（施工） 第10章 防水・屋根工事					
	51	学科Ⅳ（施工） 第11章 左官工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	52	学科Ⅰ（計画） 第16章 商業建築	各授業項目ごとの過去問予習				
	53	学科Ⅰ（計画） 第17章 公共建築					
	54	学科Ⅰ（計画） 第18章 地域契約					
	55	学科Ⅰ（計画） 第19章 各論融合	演習テスト終了後、見直し学習				
	56	学科Ⅱ（法規） 第5章 容積率 、建ぺい率	各授業項目ごとの過去問予習				
	57	学科Ⅱ（法規） 第5章 高さ制限					
	58	学科Ⅲ（構造） 第10章 鉄筋コンクリート構造					
	59	学科Ⅳ（施工） 第14章 建具・ガラス工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	60	学科Ⅳ（施工） 第15章 内装、断熱工事	各授業項目ごとの過去問予習				
	61	学科Ⅳ（施工） 第16章 ユニット工事					
	62	学科Ⅳ（施工） 第17章 設備工事					
	63	学科Ⅳ（施工） 第18章 用語・機械 、積算	演習テスト終了後、見直し学習				
	64	学科Ⅱ（法規） 第5章 日影規制	各授業項目ごとの過去問予習				
	65	学科Ⅱ（法規） 第6章 バリアフリー法、耐震改修促進法					
	66	学科Ⅱ（法規） 第7章 建築士法、都市計画法					
	67	学科Ⅲ（構造） 第11章 鉄骨構造 構造設計 建築材料	演習テスト終了後、見直し学習				
	68	本試験		弱点チェック表で、点数が低い問題を復習する。			
評価方法	(1)模擬試験（筆記）を実施する。※60％以上取得すること(2)確認テストを実施する (3)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				30%
	2級建築士学科本試験					○	10%
履修上の注意	原則、学科本試験受験を単位付与条件とする						

科目名	二級建築士 建築設計製図				
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING				
単位数	9単位	時間数	136時間	担当者	納富 友羅
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 各建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	△	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する
	3	本試験出題のイメージ..			エキスと巻末の表現補法を確認
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する
	5	記述について、 解答文作成のポイント、記述における基本構成...			前回学習したことを復習する
	6	設問に対して明快に記述する 各種図面について			前回学習したことを復習する
	7	図面と整合した記述をする			前回学習したことを復習する
	8	各種図面について 部分詳細図と矩計図			前回学習したことを復習する
	9	各種図面について 1階床仕上げが変更になった場合			前回学習したことを復習する
	10	各種図面について 建物条件に変化があった場合			前回学習したことを復習する
	11	各種図面について断面図について			前回学習したことを復習する
	12	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイント			前回学習したことを復習する
	13	共通項目 設計製図試験の概要 不合格の図面とは			自己採点表を配布事前に確認させ、減点項目を知っておく。
	14	共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向			試験当時配布プリントを配布確認
	15	共通項目 設計製図試験の概要 近年の出題傾向			高齢者に向けた対応を調べさせる。
	16	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのしかた			テキストを忘れないように
	17	共通項目 製図を始める前に (ビデオ)様々な表現			表現方法テキストで確認
	18	線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	19	外構、植栽等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	20	家具・設備機器等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	21	設計製図試験における関連法規			建築基準法令集持参確認
	22	木造 木造専用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			
	23	木造 木造専用住宅 平面計画			
	24	木造 木造専用住宅 課題文の読み取り、			色鉛筆 蛍光ペン準備
	25	木造 木造専用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する
	26	木造 木造併用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			前回学習したことを復習する
	27	木造 木造併用住宅 平面計画			前回学習したことを復習する
	28	木造 木造併用住宅課題文の読み取り、			前回学習したことを復習する
	29	木造 木造併用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する
	30	木造 要求図面 要求図面の描き方			テキスト熟読する

授業計画	31	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	32	木造 要求図面 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	33	木造 要求図面 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	34	木造 要求図面 2階床伏せ図兼1階小屋伏せ図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	35	木造 要求図面 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	36	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要	前回学習したことを復習する				
	37	ラーメン構造 構造 計画	前回学習したことを復習する				
	38	ラーメン構造 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する				
	39	ラーメン構造 平面計画	前回学習したことを復習する				
	40	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する				
	41	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	42	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	43	鉄筋コンクリート造 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	44	鉄筋コンクリート造 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	45	鉄筋コンクリート造 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	46	鉄骨造(S造)					
	47	鉄骨造(S造)(RC造) 概要	6月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	48	純ラーメン構造 構造 計画	法令集持参、関連法規に注意させる				
	49	純ラーメン構造 配置計画と外部動線	建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。				
	50	純ラーメン構造 平面計画	建築構造テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。				
	51	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、	事例をもとに解説、プリントうはファイリングの支持をする。				
	52	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方	11月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	53	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)	12月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	54	鉄骨造(S造) 立面図	図面のチェックと修正				
	55	鉄骨造(S造) 断面図	図面のチェックと修正				
	56	鉄骨造(S造) 部分詳細図	図面のチェックと修正				
	57	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き	テキスト巻末課題準備				
	58	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	59	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	60	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	61	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習				
	62	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習				
	63	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き	図面のチェックと修正				
	64	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
65	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正					
66	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正					
67	まとめ 整理	演習問題れんけいする。					
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題①	○	◎				40%
	チャレンジ課題②	○	◎				30%
履修上の注意	出席率60%未満の者には単位を付与しない。						

科目名		二級建築士 建築設計製図演習									
科目名(英)		ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING									
単位数	16単位		時間数	240時間		担当者	納富 友羅				
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年		建築士専攻科 1年									
授業概要		設計製図試験に対応した基礎理論と課題図面の解説、また試験に対応した模擬試験の演習と解説を通し、実務レベルの専門技術の習得を図る									
授業形式		講義： △		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
			○	○			過去の2級建築士製図試験出題図面を、正しく作図することができる				
		○	○				1時間以内でエスキスをチェックリストをもとに、計画することができる。				
		○	○				15分以内に設計趣旨を文書化できる。				
			○	○			正確な面積計算や、各要求スペースを指面積内で作成できる。				
テキスト・教材 参考図書		建築士専攻科オリジナルテキスト									
	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	近年の試験対策について 全体概要説明					事前にテキスト確認する				
	2	設計製図試験の概要									
	3	建築物のエスキス方法の確認					オリジナルテキスト参照させる				
	4	関係建築物VTR 鑑賞					必要部分メモ指導				
	5	模擬試験1 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	6	模擬試験1	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	7	模擬試験1	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	8	模擬試験1	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	9	模擬試験1	の解説								
	10	模擬試験1	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	11	模擬試験1	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	12	模擬試験1	全体で情報共有。 未完成者指導				完成まで 居残り学習				
	13	模擬試験2 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	14	模擬試験2	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	15	模擬試験2	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	16	模擬試験2	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	17	模擬試験2	の解説								
	18	模擬試験2	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	19	模擬試験2	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	20	模擬試験2	全体で情報共有。 未完成者指導				完成まで 居残り学習				
	21	模擬試験3 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	22	模擬試験3	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	23	模擬試験3	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	24	模擬試験3	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	25	模擬試験3	の解説								
	26	模擬試験3	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	27	模擬試験3	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	28	模擬試験3	全体で情報共有。 未完成者指導				完成まで 居残り学習				
	29	模擬試験4 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	30	模擬試験4	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	31	模擬試験4	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	32	模擬試験4	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	33	模擬試験4	の解説								
	34	模擬試験4	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
35	模擬試験4	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有					

授業計画	36	模擬試験4 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	37	模擬試験5 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	38	模擬試験5 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	39	模擬試験5 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	40	模擬試験 5 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	41	模擬試験 5 の解説	
	42	模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	43	模擬試験5 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	44	模擬試験5 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	45	模擬試験6 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	46	模擬試験6 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	47	模擬試験6 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	48	模擬試験 6 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	49	模擬試験 6 の解説	
	50	模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	51	模擬試験6 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	52	模擬試験6 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	53	模擬試験7 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	54	模擬試験7 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	55	模擬試験7 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	56	模擬試験7 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	57	模擬試験7 の解説	
	58	模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	59	模擬試験7 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	60	模擬試験7 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	61	出張型模擬試験 9:30集合 本番模擬体験 説明	天神会場へ製図版持ち込み移動
	62	公開模試試験	事前にテキスト確認する
	63	公開模試試験	
	64	公開模試試験	
	65	公開模試試験 終了後自由解散	提出し、採点結果 後日送付
	66	模擬試験8 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	67	模擬試験8 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	68	模擬試験8 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	69	模擬試験8 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	70	模擬試験8 の解説	
	71	模擬試験8 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	72	模擬試験8各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	73	模擬試験8 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	74	模擬試験9 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	75	模擬試験9 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	76	模擬試験9 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	77	模擬試験9 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	78	模擬試験9の解説	
	79	模擬試験9 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	80	模擬試験9 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	81	模擬試験9 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	82	模擬試験10 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	83	模擬試験10 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	84	模擬試験10 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	85	模擬試験10 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	86	模擬試験10 の解説	
	87	模擬試験10 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有

	88	模擬試験10 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	89	模擬試験10 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習				
	90	模擬試験11 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	91	模擬試験11 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	92	模擬試験11 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	93	模擬試験11 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	94	模擬試験11 の解説					
	95	模擬試験11 各目の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	96	模擬試験11 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	97	模擬試験11 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習				
	98	模擬試験12 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	99	模擬試験12 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	100	模擬試験12 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	101	模擬試験 12 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	102	模擬試験 12 の解説					
	103	模擬試験12 各目の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	104	模擬試験12 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	105	模擬試験12 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習				
	106	模擬試験13 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	107	模擬試験13 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	108	模擬試験13 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	109	模擬試験 13 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	110	模擬試験 13 の解説					
	111	模擬試験13 各目の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	112	模擬試験13 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	113	模擬試験13 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習				
	114	模擬試験14 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	115	模擬試験14 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	116	模擬試験14 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	117	模擬試験14 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	118	模擬試験14 の解説					
	119	模擬試験14 各目の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	120	模擬試験14 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	121	模擬試験14 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習				
	122	本試験注意事項説明	受験票確認 交通方法確認 持ち物確認				
	123	直前問題 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	図面のチェックと修正				
	124	直前問題 平面図より作図 1階	図面のチェックと修正				
	125	直前問題 平面図より作図 2階	図面のチェックと修正				
	126	直前問題 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	図面のチェックと修正				
	127	質疑応答	質問紙事前提出				
	128	本試験終了後 学校へ帰り、エスキスチェック 自己採点 終了	12月の発表まで待つ				
評価方法	(1)練習課題の完成度 (2)模擬試験 (3)2級建築士本試験 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎	○			60%
	模擬試験	○	◎	○			30%
	2級建築士本試験					○	10%
履修上の注意	原則、本試験受験が単位認定の付与条件。						

科目名	特別講座Ⅰ（施工管理）選択						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	20時間		担当者	橘 俊明
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	建築士専攻科1年						
授業概要	2施工_学科試験合格を視野に、問題読解に必要な基本的な知識を要点を絞り込んで身につけていきます。 また、理解度確認のため小テスト、模擬テストを複数回、実施し実力をつけていきます。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。	
	○	○				小テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト〈2019年度版〉市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集〈2019年度版〉市ヶ谷出版社						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	建築学 / 環境工学 / 構造力学 / 一般構造 / 建築材料					・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内容に係る複数回、小テスト・模擬テストを実施するので、復習しておくこと
	2	共通 / 舗装・植栽工事 / 建築設備					
	3	設計図書・測量 / 建築法規 / 建築基準 / 労働基準法					
	4	労働安全衛生法 / 環境保全関係法、その他					
	5	施工管理法 / 施工計画 / 工程管理 / 品質管理 / 安全管理					
	6	建築施工 / 地盤調査 / 仮設工事 / 地業 / 土工事					
	7	鉄筋コンクリート工事 / 特殊コンクリート工事					
	8	鉄骨工事 / 木工事 / 防水工事、石工事 / タイル工事、屋根工事					
	9	金属工事、左官工事 / 建具工事、塗装工事					
10	内外装工事、建設機械						
評価方法	(1)授業の中で小テストを基本毎回、実施する。(2)確認テスト(模擬テスト)を実施する。 (3)出席状況、受講態度を評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・受講態度				◎		30%
	小テスト、模擬テスト		◎		○		70%
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。						

科目名	二級建築士 法規				
科目名(英)	Building regulations				
単位数	8単位	時間数	128時間	担当者	橘 俊明
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	設計会社にて 設計担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○	○			目標
	○	○			法令集の使用方法の手順を守れている。
	○	○			面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。
	○	○			建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。
	○	○			建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正答を導き出せる。
テキスト・教材 参考図書	○	○			法令集を使用して、各章の答えを導くことができる。
	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅱ 法規				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	建築基準法全体説明 法令集の使い方説明			ライン引き インデックス 配布
	2	法令集インデックスの貼り方			付録 法令集準備を確認させる
	3	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる
	4	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる
	5	重要法条文ライン引き			放課後自宅でもライン引きさせる
	6	第1章 総則 用語の定義			放課後自宅でもライン引きさせる
	7	総則 面積・高さ等の算定方法			今回予定範囲を予習する
	8	総則 面積・高さ等の算定方法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	9	総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	総則 確認済証の交付			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	総則 手続き等(中間検査等)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	13	第2章 一般構造等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	一般構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	建築設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第3章 構造強度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	構造関係規定の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	構造方法(仕様規定)			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	構造計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	20	確認テスト			今までの復習プリントで復習
	21	実力試験			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第4章 防火関係			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	防火構造等 1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	防火構造等 2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	耐火構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	26	法22条区域の建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	27	耐火建築物としなければならない特殊建築物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	28	防火地域、準防火地域			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	29	防火区画等			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング

授業計画	30	内装制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31	内装制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	32	避難施設等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	33	第4章の 確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	34	第5章 都市計画区域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	35	都市計画区域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	36	道路壁面戦1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	37	道路壁面戦2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	38	用途地域1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	39	用途地域2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	40	容積率 建蔽率1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	41	容積率 建蔽率2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	42	敷地面積・低層住居専用地域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	43	敷地面積・低層住居専用地域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	44	高さ制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	45	高さ制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	46	地区、街区等1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	47	地区、街区等2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	48	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	49	実力試験	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	50	第5章の確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	51	第6章 雑則等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	52	雑則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	53	建築協定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	54	建築審査会、罰則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	55	全範囲の模擬試験1回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	56	全範囲の模擬試験2回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	57	全範囲の模擬試験3回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	58	全範囲の模擬試験4回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	59	全範囲の模擬試験5回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	60	全範囲の模擬試験6回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	61	全範囲の模擬試験7回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	62	予想問題実施1回目	全範囲を今までのプリントで復習				
	63	試験前説 復習問題 試験諸注意	全範囲を今までのプリントで復習				
64	試験終了後、自己採点会実施 2次試験の説明	全範囲を今までのプリントで復習					
評価方法	(1)実力試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)授業中に確認テストを実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				30%
	実力試験	○	○				70%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	二級建築士 計画						
科目名(英)	Architectural Planning						
単位数	4.8単位		時間数	72時間		担当者	森行 美枝
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年						
授業概要	学科Ⅰで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
	○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市においての役割など、正解を選択できる。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅰ計画						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 気候（屋外の気候、屋内の環境）				初回に入る前に 全体カリキュラムを確認する。	
	2	第1章 気候（空気汚染、換気）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	3	第2章 伝熱・結露（伝熱）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	4	第2章 伝熱・結露（結露）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	5	第1章～第2章までの確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	6	第3章 日照・日射・採光				授業に入る前に 3章～6章カリキュラムを確認する。	
	7	第4章 音響（音の性質、遮音、音響計画）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	8	第5章 色彩（概要、表色系）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	9	第5章 色彩（色彩と心理、色彩による環境調整）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	10	第6章 環境工学融合（用語）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	11	第6章 環境工学融合（単位）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	12	第3章～第6章 確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	13	第1章～第6章実力テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。適宜 質問カード記入提出。	
	14	第7章 空調調設備 1（空調調設備の種類）				授業に入る前に 7章～12章カリキュラムを確認する。	
	15	第7章 空調調設備 2（空調調設備計画）				授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。	
	16	第8章 給水設備（給水設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	17	第8章 給水設備（給湯設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	18	第9章 排水衛星設備（排水設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	19	第9章 排水衛星設備（排水設備）衛生設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	20	第10章 電気・照明設備（電気設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	21	第10章 電気・照明設備（証明設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	22	第11章 消火・防災設備（消火設備）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	23	第11章 消火・防災設備（防災設備）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	24	第12章 設備融合（省エネルギー・環境保全）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	25	第12章 設備融合（用語）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	26	第7章～12章確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	27	第13章建築史（日本建築史西洋建築史、近代・現代建築史）				13章～18章カリキュラム確認する。	
	28	第14章 計画一般（面積・規模、寸法設計、屋根、開口部、仕上げ、建築精算、防火、防災計画）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	29	第15章 住宅（独立住宅）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	30	第15章 住宅（集合住宅）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	31	第16章商業建築（店舗、事務所、宿泊施設、劇場、映画館、工場、倉庫）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	32	第17章公共建築（学校、幼稚園、保育所、図書館、美術、）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	33	第17章 地域計画（博物館、医療施設、その他の公共施設）				前回までの復習を確認問題で実施する。	
	34	第18章 地域計画（住宅計画、都市問題・都市理論）				今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
	35	第13章～18章確認テスト				テスト後必ず解説を読み、復習する。	
	36	第13章～第18章実力テスト				今まで配布した、問題、解説ファイル確認し、見直す。質問カード提出より、情報共有する。	
評価方法	(1)定期試験（筆記）を実施する。※60％以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	実力試験	○	○				60%
履修上の注意							

科目名	二級建築士 構造				
科目名(英)	Building construction				
単位数	8単位	時間数	128時間	担当者	柴田 義泰
実施年度	2019年度	実施時期	前期	事務家教員担当科	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 構造物と力 静定構造物の応力 トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 等内容を知ること、2級建築士レベルの知識を身につける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目 標					
	構造力学に必要な基礎数学が解ける。(中学程度の基礎数学)				
	不静定構造物の計算ができる				
	木造構造の各部の名称や特徴が説明できる。				
	コンクリート構造の各部の名称や特徴が説明できる。				
	鉄骨構造の各部の名称や特徴が説明できる。				
テキスト・教材参考	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅲ構造				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	生活の中で構造について、建築士試験とは。			テキストにおいて予習する
	2	第1章 構造物と力 反力の計算			構造力学に必要な基礎数学を予習する
	3	第2章 構造物と力 単純梁の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	4	第1章 構造物と力 方持ち梁の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	5	第2章 静定構造物の応力 3ヒンジラーメンの計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	6	第2章 静定構造物の応力 静定構造物の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	7	第3章 特定トラスの応力 トラス構造種類 や特徴			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	8	第3章 特定トラスの応力 トラス構造の計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	9	第4章 断面の性質 断面構造 特徴			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	第4章 断面の性質 図芯について			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	第4章 断面の性質 断面系数			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	確認テスト			今までの復習プリントで復習
	13	第4章 断面の性質 断面2次モーメント計算			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	第5章 応力度と許容応力度 軸応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	第5章 応力度と許容応力度 曲げ応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第5章 応力度と許容応力度 せん断応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	第5章 応力度と許容応力度 軸応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	第5章 応力度と許容応力度 許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	第5章 応力度と許容応力度 許容曲げモーメント			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	20	第5章 応力度と許容応力度 圧縮応力度との組み合わせ			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	21	第6章 変形と不静定構造物 不静定構造物とは			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第6章 変形と不静定構造物 基礎解法			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	第6章 変形と不静定構造物 破棄と破壊荷重			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	第6章 変形と不静定構造物 保有水平耐力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	確認テスト			今までの復習プリントで復習
	26	第7章 荷重・外力 構造物の安定と不安定			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	27	第7章 荷重・外力 建物に作用する外力とその伝達メカニズム			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	28	第7章 荷重・外力 構造設計法の概要1			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	29	第7章 荷重・外力 構造設計法の概要2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング

授業計画	30	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	32	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	33	第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	34	第9章 木構造 木質構造の概要	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	35	第9章 木構造 木造と木質材料	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	36	第9章 木構造 小屋組 軸組	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	37	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	38	第10章 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造とは	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	39	第10章 鉄筋コンクリート構造 RC造の材料	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	40	第10章 鉄筋コンクリート構造 スラブ 耐震壁	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	41	第10章 鉄筋コンクリート構造 断面算定	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	42	第11章 鉄骨構造 鉄骨構造の概要	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	43	第11章 鉄骨構造 種類と性質	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	44	第11章 鉄骨構造 トラス構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	45	第11章 鉄骨構造 耐火被覆 及びさび止め	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	46	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	47	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	48	第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	49	確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	50	第13章 構造設計 木造構造の耐力壁の計算	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	51	第13章 構造設計 壁式構の耐力壁配置計画	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	52	第13章 構造設計 鉄骨造構造計画	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	53	第13章 構造設計 ラーメン構造の柱配計画	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	54	第14章 建築材料 構造用材料 木材	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	55	第14章 建築材料 構造用材料 金属	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	56	第14章 建築材料 構造用材料 コンクリート	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	57	第14章 建築材料 内装材料 非金属材料	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	58	第14章 建築材料 内装材料 石材	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	59	第14章 建築材料 内装材料 ガラス	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
60	第14章 建築材料 内装材料 左官材料	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング					
61	第15章 建築材料 プラスチック	復習問題で復習 プリントjは次回まで提出 解説と一緒にファイリング					
62	確認テスト	今までの復習プリントで復習					
63	模擬試験	本番を想定 終了後答え合わせ。					
64	本試験後採点及び復習	2次試験に備える					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				30%
	模擬試験	○	○				60%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	二級建築士 施工						
科目名(英)	Building Construction						
単位数	4.8単位		時間数	72時間		担当者	納富 友羅
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年						
授業概要	学科Ⅳで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)						目標	
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅳ施工						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 工事契約1				第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく	
	2	第2章 工事契約2				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第2章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第3章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第3章 地盤調査・測量 第5章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	8	第6章 土工事・基礎地業工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第6章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第7章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第7章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第8章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第8章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第9章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第9章 木工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	16	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	17	第10章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	18	第11章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	19	第11章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	20	第12章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	21	第12章 タイル・張石工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	22	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	23	第13章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	24	第14章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	25	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	26	第14章 建具・ガラス工事 第16章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	27	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	28	確認テスト				確認テストと解説を見直し復習する	
	29	第18章 用語・機械 第19章積算				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	30	模擬試験				今までの内容を復習する	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	模擬試験	○	○				60%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	二級建築士学科演習					
科目名(英)	Architectural Planning					
単位数	4.8単位	時間数	72時間	担当者	橋 俊明	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	二級建築士主要4科目において、7月の学科試験に向けて、演習問題を解き、実践的な力をつけさせる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				2級建築士(計画)各出題範囲において60%以上の正解を目指す
	○	○				2級建築士(法規)各出題範囲において60%以上の正解を目指す
	○	○				2級建築士(構造)各出題範囲において60%以上の正解を目指す
	○	○				2級建築士(施工j)各出題範囲において60%以上の正解を目指す
	○	○				総合得点60点以上を目指す
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科Ⅰ計画					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	学科Ⅰ(計画)第1章 気候			各授業項目ごとの過去問予習	
	2	学科Ⅰ(計画)第2章 伝熱・結露 (伝熱)				
	3	学科Ⅱ(法規) 第1章総則 用語の定義 面積				
	4	学科Ⅱ(法規) 第1章総則 高さ等の算定方法 確認済			演習テスト終了後、見直し学習	
	5	学科Ⅲ(構造) 構造物と力			各授業項目ごとの過去問予習	
	6	学科Ⅲ(構造) 応力 片持梁の応力				
	7	学科Ⅲ(構造) 単純梁の応力				
	8	学科Ⅲ(構造) 静定ラーメンの応力			演習テスト終了後、見直し学習	
	9	学科Ⅳ(施工) 第1章 工事契約			各授業項目ごとの過去問予習	
	10	学科Ⅳ(施工) 第2章 工事監理、施工業務 ネットワーク				
	11	学科Ⅰ(計画)第3章日照、日射・採光				
	12	学科Ⅰ(計画)第4章音響 5章色彩 6章環境工学融合			演習テスト終了後、見直し学習	
	13	学科Ⅱ(法規) 第1章手続き【中間検査等】			各授業項目ごとの過去問予習	
	14	学科Ⅱ(法規) 第2章一般構造 敷地の衛生、住居の採光				
	15	学科Ⅱ(法規) 第2章石綿規制・シックハウス対策				
	16	学科Ⅱ(法規) 第2章居室の天井・床の高さ、便所			演習テスト終了後、見直し学習	
	17	学科Ⅱ(法規) 第3章 建築設備			各授業項目ごとの過去問予習	
	18	学科Ⅲ(構造) 第2章 単純梁の応力				
	19	学科Ⅲ(構造) 第2章 静定ラーメンの応力				
	20	学科Ⅲ(構造) 第3章 特定トラスの応力			演習テスト終了後、見直し学習	
	21	学科Ⅳ(施工) 第3章 地盤調査・測量			各授業項目ごとの過去問予習	
	22	学科Ⅳ(施工) 第4章 架設工事				
	23	学科Ⅳ(施工) 第5章 土工事・基礎事業工事				
	24	学科Ⅰ(計画) 第7章 空気調和設備			演習テスト終了後、見直し学習	
	25	学科Ⅰ(計画) 第8章 給水設備			各授業項目ごとの過去問予習	
	26	学科Ⅰ(計画) 第9章 排水衛生設備				
	27	学科Ⅱ(法規) 第3章 構造強度				
	28	学科Ⅱ(法規) 第4章防火構造等、法22条区域内の建築物			演習テスト終了後、見直し学習	
	29	学科Ⅲ(構造) 第4章 断面の性質			各授業項目ごとの過去問予習	
	30	学科Ⅲ(構造) 第5章 応力度と許容応力度				
	31	学科Ⅲ(構造) 第6章 変形と不静定構造物				

授業計画	32	学科Ⅳ（施工） 第5章 鉄筋コンクリート工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	33	学科Ⅰ（計画） 第10章 電気設備	各授業項目ごとの過去問予習				
	34	学科Ⅰ（計画） 第11章 消火、防災設備					
	35	学科Ⅰ（計画） 第12章 設備融合					
	36	学科Ⅱ（法規） 第4章 防火区画・間仕切壁	各授業項目ごとの過去問予習				
	37	学科Ⅱ（法規） 第4章 内装制限等					
	38	学科Ⅱ（法規） 第4章 避難施設・排煙設備					
	39	学科Ⅲ（構造） 第7章 荷重と外力	演習テスト終了後、見直し学習				
	40	学科Ⅲ（構造） 第8章 地盤と基礎構造	各授業項目ごとの過去問予習				
	41	学科Ⅳ（施工） 第7章 鉄骨工事					
	42	学科Ⅳ（施工） 第8章 コンクリートブロック工事					
	43	学科Ⅳ（施工） 第9章 木工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	44	学科Ⅰ（計画） 第13章 建築史	各授業項目ごとの過去問予習				
	45	学科Ⅰ（計画） 第14章 計画一般					
	46	学科Ⅰ（計画） 第15章 住宅					
	47	学科Ⅱ（法規） 第5章 都市計画等の制限 道路、壁面線	演習テスト終了後、見直し学習				
	48	学科Ⅱ（法規） 第5章 都市計画等の制限 用途地域	各授業項目ごとの過去問予習				
	49	学科Ⅲ（構造） 第9章 木構造					
	50	学科Ⅳ（施工） 第10章 防水・屋根工事					
	51	学科Ⅳ（施工） 第11章 左官工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	52	学科Ⅰ（計画） 第16章 商業建築	各授業項目ごとの過去問予習				
	53	学科Ⅰ（計画） 第17章 公共建築					
	54	学科Ⅰ（計画） 第18章 地域契約					
	55	学科Ⅰ（計画） 第19章 各論融合	演習テスト終了後、見直し学習				
	56	学科Ⅱ（法規） 第5章 容積率 、建ぺい率	各授業項目ごとの過去問予習				
	57	学科Ⅱ（法規） 第5章 高さ制限					
	58	学科Ⅲ（構造） 第10章 鉄筋コンクリート構造					
	59	学科Ⅳ（施工） 第14章 建具・ガラス工事	演習テスト終了後、見直し学習				
	60	学科Ⅳ（施工） 第15章 内装、断熱工事	各授業項目ごとの過去問予習				
	61	学科Ⅳ（施工） 第16章 ユニット工事					
	62	学科Ⅳ（施工） 第17章 設備工事					
	63	学科Ⅳ（施工） 第18章 用語・機械 、積算	演習テスト終了後、見直し学習				
	64	学科Ⅱ（法規） 第5章 日影規制	各授業項目ごとの過去問予習				
	65	学科Ⅱ（法規） 第6章 パリアフリー法、耐震改修促進法					
66	学科Ⅱ（法規） 第7章 建築士法、都市計画法						
67	学科Ⅲ（構造） 第11章 鉄骨構造 構造設計 建築材料	演習テスト終了後、見直し学習					
68	本試験		弱点チェック表で、点数が低い問題を復習する。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬テスト	○	○				40%
	本試験結果	○	○				60%
履修上の注意	原則 学科本試験受験を単位付与条件とする。						

科目名	二級建築士 建築設計製図				
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING				
単位数	9単位	時間数	136時間	担当者	納富 友羅
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 各建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	△	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書					
建築士専攻科オリジナルテキスト					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する
	3	本試験出題のイメージ..			エキスと巻末の表現補法を確認
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する
	5	記述について、 解答文作成のポイント、記述における基本 構成...			前回学習したことを復習する
	6	設問に対して明快に記述する 各種図面について			前回学習したことを復習する
	7	図面と整合した記述をする			前回学習したことを復習する
	8	各種図面について 部分詳細図と矩計図			前回学習したことを復習する
	9	各種図面について 1階床仕上げが変更になった場合			前回学習したことを復習する
	10	各種図面について 建物条件に変化があった場合			前回学習したことを復習する
	11	各種図面について断面図について			前回学習したことを復習する
	12	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイ ント			前回学習したことを復習する
	13	共通項目 設計製図試験の概要 不合格の図面とは			自己採点表を配布事前に確認させ、減点項目を 知っておく。
	14	共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向			試験当時配布プリントを配布確認
	15	共通項目 設計製図試験の概要 近年の出題傾向			高齢者に向けた対応を調べさせる。
	16	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのし かた			テキストを忘れないように
	17	共通項目 製図を始める前に (ビデオ)様々な表現			表現方法テキストで確認
	18	線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	19	外構、植栽等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	20	家具・設備機器等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	21	設計製図試験における関連法規			建築基準法令集持参確認
	22	木造 木造専用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			
	23	木造 木造専用住宅 平面計画			
	24	木造 木造専用住宅 課題文の読み取り、			色鉛筆 蛍光ペン準備
	25	木造 木造専用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する
	26	木造 木造併用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			前回学習したことを復習する
	27	木造 木造併用住宅 平面計画			前回学習したことを復習する
	28	木造 木造併用住宅課題文の読み取り、			前回学習したことを復習する
	29	木造 木造併用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する
	30	木造 要求図面 要求図面の描き方			テキスト熟読する
	31	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図			テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認す る

授業計画	32	木造 要求図面 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	33	木造 要求図面 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	34	木造 要求図面 2階床伏せ図兼1階小屋伏せ図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	35	木造 要求図面 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	36	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要	前回学習したことを復習する				
	37	ラーメン構造 構造 計画	前回学習したことを復習する				
	38	ラーメン構造 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する				
	39	ラーメン構造 平面計画	前回学習したことを復習する				
	40	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する				
	41	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	42	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	43	鉄筋コンクリート造 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	44	鉄筋コンクリート造 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	45	鉄筋コンクリート造 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する				
	46	鉄骨造(S造)					
	47	鉄骨造(S造)(RC造) 概要	6月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	48	純ラーメン構造 構造 計画	法令集持参、関連法規に注意させる				
	49	純ラーメン構造 配置計画と外部動線	建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。				
	50	純ラーメン構造 平面計画	建築構造テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。				
	51	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、	事例をもとに解説、プリントうはファイリングの支持をする。				
	52	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方	11月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	53	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)	12月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。				
	54	鉄骨造(S造) 立面図	図面のチェックと修正				
	55	鉄骨造(S造) 断面図	図面のチェックと修正				
	56	鉄骨造(S造) 部分詳細図	図面のチェックと修正				
	57	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き	テキスト巻末課題準備				
	58	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	59	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	60	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備				
	61	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習				
	62	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習				
	63	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き	図面のチェックと修正				
	64	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
	65	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正				
66	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正					
67	まとめ 整理	演習問題れんけいする。					
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎				30%
	チャレンジ課題①	○	◎				40%
	チャレンジ課題②	○	◎				30%
履修上の注意	出席率60% 未満者 単位付与しない。						

科目名	二級建築士 建築設計製図演習										
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING										
単位数	16単位			時間数		240時間		担当者	納富 友羅		
実施年度	2019年度			実施時期		前期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年										
授業概要	設計製図試験に対応した基礎理論と課題図面の解説 また試験に対応した模擬試験の演習と解説										
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○	△			2級建築士製図試験に合格するレベルの図面を作図をすることができる					
	○	○				1時間以内でエスキスをチェックリストをもとに、計画することができる。					
	○	○				15分以内設計趣旨を文書化できる。					
		○				正確な、面積計算や、各要求スペースを指面積内で作成できる。					
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト										
	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	近年の試験対策について 全体概要説明					事前にテキスト確認する				
	2	設計製図試験の概要									
	3	建築物のエスキス方法の確認					オリジナルテキスト参照させる				
	4	関係建築物VTR 鑑賞					必要部分メモ指導				
	5	模擬試験1 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	6	模擬試験1	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	7	模擬試験1	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	8	模擬試験1	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	9	模擬試験1	の解説								
	10	模擬試験1	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	11	模擬試験1	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	12	模擬試験1	全体で情報共有。 未 completion 指導				完成まで 居残り学習				
	13	模擬試験2 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	14	模擬試験2	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	15	模擬試験2	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	16	模擬試験2	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	17	模擬試験2	の解説								
	18	模擬試験2	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	19	模擬試験2	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	20	模擬試験2	全体で情報共有。 未 completion 指導				完成まで 居残り学習				
	21	模擬試験3 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	22	模擬試験3	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	23	模擬試験3	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	24	模擬試験3	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	25	模擬試験3	の解説								
	26	模擬試験3	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
	27	模擬試験3	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有				
	28	模擬試験3	全体で情報共有。 未 completion 指導				完成まで 居残り学習				
	29	模擬試験4 チェック	問題読→エスキス →チェックリストによる				【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	30	模擬試験4	平面図より作図 1階				時間内作図に集中				
	31	模擬試験4	平面図より作図 2階				【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	32	模擬試験4	立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図				【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	33	模擬試験4	の解説								
	34	模擬試験4	各自の添削図面をもちよりグループ学習				情報共有				
35	模擬試験4	各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有				情報共有					

授業計画	36	模擬試験4 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	37	模擬試験5 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	38	模擬試験5 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	39	模擬試験5 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	40	模擬試験 5 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	41	模擬試験 5 の解説	
	42	模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	43	模擬試験5 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	44	模擬試験5 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	45	模擬試験6 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	46	模擬試験6 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	47	模擬試験6 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	48	模擬試験 6 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	49	模擬試験 6 の解説	
	50	模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	51	模擬試験6 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	52	模擬試験6 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	53	模擬試験7 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	54	模擬試験7 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	55	模擬試験7 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	56	模擬試験7 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	57	模擬試験7 の解説	
	58	模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	59	模擬試験7 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	60	模擬試験7 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	61	出張型模擬試験 9:30集合 本番模擬体験 説明	天神会場へ製図版持ち込み移動
	62	公開模試試験	事前にテキスト確認する
	63	公開模試試験	
	64	公開模試試験	
	65	公開模試試験 終了後自由解散	提出し、採点結果 後日送付
	66	模擬試験8 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	67	模擬試験8 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	68	模擬試験8 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	69	模擬試験8 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	70	模擬試験8 の解説	
	71	模擬試験8 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	72	模擬試験8各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	73	模擬試験8 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	74	模擬試験9 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	75	模擬試験9 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	76	模擬試験9 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	77	模擬試験9 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	78	模擬試験9の解説	
	79	模擬試験9 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	80	模擬試験9 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報 共有	情報共有
	81	模擬試験9 全体で情報共有。 未 completion 指導	完成まで 居残り学習
	82	模擬試験10 問題読→エスキス →チェックリストによる チェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	83	模擬試験10 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	84	模擬試験10 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	85	模擬試験10 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	86	模擬試験10 の解説	
	87	模擬試験10 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有

	88	模擬試験10 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	89	模擬試験10 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習				
	90	模擬試験11 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	91	模擬試験11 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	92	模擬試験11 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	93	模擬試験11 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	94	模擬試験11 の解説					
	95	模擬試験11 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	96	模擬試験11 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	97	模擬試験11 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習				
	98	模擬試験12 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	99	模擬試験12 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	100	模擬試験12 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	101	模擬試験 12 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	102	模擬試験 12 の解説					
	103	模擬試験12 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	104	模擬試験12 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	105	模擬試験12 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習				
	106	模擬試験13 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	107	模擬試験13 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	108	模擬試験13 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	109	模擬試験 13 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	110	模擬試験 13 の解説					
	111	模擬試験13 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	112	模擬試験13 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	113	模擬試験13 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習				
	114	模擬試験14 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック				
	115	模擬試験14 平面図より作図 1階	時間内作図に集中				
	116	模擬試験14 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック				
	117	模擬試験14 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック				
	118	模擬試験14 の解説					
	119	模擬試験14 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有				
	120	模擬試験14 各目の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有				
	121	模擬試験14 全体で情報共有。 未完了者指導	完成まで 居残り学習				
	122	本試験注意事項説明	受験票確認 交通方法確認 持ち物確認				
	123	直前問題 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	図面のチェックと修正				
	124	直前問題 平面図より作図 1階	図面のチェックと修正				
	125	直前問題 平面図より作図 2階	図面のチェックと修正				
	126	直前問題 立面、断面、 床組兼小屋伏図 製図	図面のチェックと修正				
	127	質疑応答	質問紙事前提出				
	128	本試験終了後 学校へ帰り、エスキスチェック 目点採点 終了	12月の発表まで待つ				
評価方法	(1)課題の提出 (2)課題得点評価シートを基に下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎	○			60%
	公開模試	○	◎	○			40%
履修上の注意	本試験受験が単位認定の条件。						